



マリモはどうして丸くなるの

マリモは特別天然記念物で、取ったり育てたりはできない

北海道阿寒湖のマリモは、特別天然記念物になっています。マリモはふつうの緑藻ですが、丸く育つ原因はまだ良くわかっていません。最近の調査では、岸から湖底の方向にいくほど大きなマリモが見つかります。水の流れて坂を転がり落ちるのが、丸くなる原因とも考えられます。阿寒湖でも、マリモが見られる場所は限られています。日照・水質・地形、水の流れなどの条件がそろった所でしか育ちません。

阿寒湖以外でも、このように丸く育つ例はあります。また、おみやげとして売られているのは、人工的に丸くしたものです。

マリモは緑藻が丸く集まったもの

マリモをつくる緑藻の1本1本を、糸状体といいます。糸状体をよく見ると、細かな枝分かれがあり、たがいにからまりやすい構造をしています。糸状体1本1本が、それぞれ1つの植物です。マリモのように丸く集まっているものから、1本1本が湖底に付着した生活をしているもの、数本がからまり水中を漂っているものと、さまざまな姿で生活しています。

マリモとよばれているのは、このうち、糸状体が丸く集まった形をしているものだけです。
(監修・中山 周平)

